

福祉マネジメント学科 専門教育科目 概要（令和8年度第1学年適用）

	科目名	概要
2年前期	生活を支えるケアの技と知	自立と尊厳を軸に生活支援技術と理論を統合して学ぶ。福祉用具の活用と環境調整に加え、3Dプリンタによる自動具開発を体験し、課題解決力を育成する。
	暮らしのデザインとケア I	「暮らし」と「ケア」の視点から、福祉におけるコミュニケーション、情報の捉え方、対象者理解、社会的課題を学ぶ。五感を通じて相手を理解し、見方を変えることで、より良い暮らしをデザインする力の基礎を身につける。
2年後期	ヘルスプロモーション論	人々の健康を支えるためのヘルスプロモーションの基本的な考え方を理解し、看護職の果たす役割について学ぶ。個人・家族・集団・組織を含む地域社会および地域で暮らす人々が自発的に健康的な生活を送ることができるような方法と看護職による支援を学ぶ。
	暮らしのデザインとケア II	対象者一人ひとりの暮らしの質を支えるケアについて学ぶ。死生観や倫理、リスクマネジメント、医療的ケア等を通して、尊厳と自立を守り、安全で安心な生活を支える実践力を養う。
2年通年	対話実践ゼミ	対話実践ゼミでは、対話を広い意味でのコミュニケーション、協働、相互学習を支える基盤であると捉え、多様な対話のアプローチを実践しながら、他者理解と自己理解を深めていくことを目的とする。1年次で学んだ当事者研究の知識を「使いながら」幅広い対話実践を体現する。
3年前期	ソーシャル・ビジネス論	様々分野で活躍する社会起業家をゲストスピーカーとして、オンライン・対面のハイブリッド形態で招き、現代の社会課題解決に向き合う実践的講義から、社会起業家の思想・哲学に触れることと、社会課題やニーズの把握から資源開発、持続可能な経営のあり方について学ぶ。講義をより深めていくために、ゲストスピーカーの講義と振り返りのグループワーク、担当教員からのレクチャーを組み合わせた講義形態とする。
3年通年	ソーシャル・インターンシップ	保健・福祉・医療分野だけでなく、行政や一般企業などを含めた多様な現場でのインターンシップを経験し、福祉マネジメント学科での学びを社会に結び付ける力を養うことを目的とする。また、社会における人・組織・制度の実際を経験し、自らのキャリア形成につなげる契機とする。
4年後期	当事者研究 II	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者研究のファシリテーターとしてのスキル向上を目指し、前期は教員主導＋学生の部分進行、後期は学生主導で実施。 ・個人テーマに加え、関係性やケア実践の自己理解も対象とし、SSTを活用したスキルトレーニングを通じて学ぶ。 ・成果はポスターや対話型報告、シアター形式など多様な方法で共有し、「語る・聴く・見せる」を多層的に体験する。